

こんには

2020 Vol.27

CONTENTS

令和初のオープンキャンパス開催	2
感染管理認定看護師教育課程が再始動	3
公開講座事業 「からだもこころも生き生き健康生活」	4
●『令和』の心『萬葉集』梅花の歌 32 首に親しむ	5
●楽しく実践『いきいき健幸体操』	5
学食だより	6
図書館だより	6
卒業生からのメッセージ	7
サークル紹介（サッカーサークル）	8
大学祭のご案内	8

～オープンキャンパス 2019～



体験授業 ～いのちを育む看護とは？～



高木講堂での本学概要説明

令和最初のオープンキャンパスを開催しました！

広報委員長 串間 敦郎

今年も本学に興味を持ち、入学を考えている高校生達に、本学の雰囲気や学びを知ってもらうオープンキャンパスを、7月14日に行いました。過去最高の659名の参加があり、大盛況で終えることができました。今年実施した内容をご紹介します。まず講堂にて、学長から本学の概要について説明、そして今年度入学試験の説明の後、本学学生による「学生生活・紹介コーナー」が行われ、質問も多く出していました。その後、施設の自由見学が行われ、多くの参加者は学生による「キャンパスツアー」に参加していました。体験授業も6種類あり、複数回実施しました。在学生との交流の時間も設けましたので、実体験をもとにしたいろいろな生の情報を聞くことができたと思います。

参加者からは、「学生が優しく、わかりやすく説明してくれた」「大学の様子がよく分かり、とても参考になった。」「ここに入学したいという思いがさらに強くなった」などの感想が寄せられました。

このようにオープンキャンパスは、「大学案内やホームページでは得ることができない生の情報を得る」ことができ、「直接大学を確かめられる貴重な体験の場」になります。来年も同じ時期に行う予定です。是非一度本学のキャンパスに足を運んでみませんか。



学生生活・紹介コーナー



個別相談会



体験授業の様子



在学生との交流の様子

感染制御の専門家育成 感染管理認定看護師教育課程が再始動 !!

感染管理認定看護師教育課程 主任教員 邊木園 幸

2014年から2016年まで3年間開講していた感染管理認定看護師教育課程が2年間の充電期間を経て、2019年7月1日に再開しました。日本看護協会は2020年度から新たな認定看護師制度をスタートします。そのような制度改革が進む中、教育課程の再開については、関係機関との協議を経て、現行の認定看護師制度に基づく教育課程を開講しました。研修生確保が課題となっていましたが、西日本各地から17名の看護師が集い、感染管理に関する専門知識や技術を学んでいます。教科目は、共通科目120時間、専門基礎科目120時間、専門科目120時間、学内演習90時間、臨地実習180時間の合計630時間であり、研修生は8か月間、臨床を離れて学業に専念しています。日頃は医療機関でリーダーシップを発揮して看護実践を行っている研修生たちですが、久しぶりの学業専念に戸惑いながらも、所属施設だけでなく地域をも含めた感染管理を目指して、講義・演習等に精力的に取り組んでいます。

感染管理認定看護師は、施設に勤務する多職種と協働しながら医療関連感染の予防と管理を推進していくことが求められます。そのため、学内では講義だけでなくグループワークとプレゼンテーションが多く行われています。研修生はテーマごとに自身の考えとメンバーの考えを擦り合わせながら、自分たちの意見をいかに聴衆に伝わるように整理し発表するかということに苦心しながら、日々成長しています。

11月からは医療機関で感染管理に関する臨地実習を行います。今年度の実習病院は、宮崎県内7病院、鹿児島県内1病院、大分県内1病院の合計9病院に分かれて、先輩の感染管理認定看護師に指導を受けながら、学内で学修した認定看護師として必要な専門知識と技術の修得度を高めています。研修生は所属施設や家族等の理解と協力を得ながら2020年2月末まで学び続け、5月に実施される認定審査試験の合格を目指します。



グループワークの様子



実験風景

「からだもこころも生き生き健康生活」

講師 壱岐さより 講師 山岡深雪 助教 大野理恵

本学の地域貢献等研究推進事業として、宮崎県民の健康維持・増進を目指し、宮崎県にお住まいの方を対象に、本学教員が講師となって、文化や健康に関する講座を毎年開催しております。本年度は、3講座開催しました。

第1回目は、大館真晴教授による、新元号「令和」にちなんで、萬葉集「梅花の歌」32首についての講座を開催しました。参加者の皆様からは「日本人の心を感じた」「日常の穏やかな日々を大切にしたい」「とても分かりやすかった」などの感想がありました。

第2回、第3回は、「転ばない体づくり、生活の中に運動を」というテーマで、串間敦郎教授、原村幸代助手が講師となり講座を開催しました。

1日目は、参加された皆さまの骨密度や体組成などの身体チェックを行い、ウォーキングについてもチェックを行いました。そして生活の中で運動を取り入れる目的や方法について講義がありました。

2日目は、1日目の講義の内容をふまえ、実際に運動を行いながら自分の身体の状況を感じ、楽しく参加されていました。

これからも皆さまの健康生活の一助となるような講座を開催していきたいと思います。

参加していただいた皆さま、本当にありがとうございました。



串間教授による講話の様子



ウォーキングのチェック風景



2日目の運動体験

『令和』の心『萬葉集』梅花の歌32首に親しむ

教授 大館 真 晴

2019年8月5日に、本学公開講座「からだもこころも生き生き健康生活」において、「『令和』の心『萬葉集』梅花の歌32首に親しむ」と題して公開講座を行いました。

新元号「令和」は、『萬葉集』卷五にある、「梅花の歌三十二首」という歌群の序文に由来します。この歌群の歌は、天平2年(730)正月13日に、当時の九州各国を統括する大宰府の長官であった大伴旅人の邸宅において開催された、「梅花の宴」で詠まれたものです。

先の序文には、「初春令月、氣淑風和」という表現があり、この表現が「令和」の出典となっております。「初春令月、氣淑風和」という表現には、日本人なら、誰しも感じることができる、穏やかな初春の風景が表現されています。このことは、現代人がつい忘がちな、何気ない穏やかな日常の大切さというものを物語っているのではないでしょうか。



大館教授による講話の様子

転ばない体づくり、生活の中に運動を —楽しく実践『いきいき健幸体操』—

助手 原村 幸代

公開講座での健康身体チェックといきいき健幸体操は、今年で3回目の開催となりました。

1日目に串間敦郎教授の「身体チェックから運動実践へ」が行われ、2日目に「楽しく実践『いきいき健幸体操』」と題して本学と宮崎市が開発した介護予防体操『いきいき健幸体操』を行いました。

今年は、3年連続で公開講座に参加している方、日頃から地域で行っている運動教室に参加している方、はじめて『いきいき健幸体操』を行う方と、様々な方々のご参加がありました。『いきいき健幸体操』のフットケアや転倒予防体操では、ご自身の体の様子を感じていただきながら動き、認知症予防の体操では笑顔もこぼれ、楽しく体操を実施しました。地域のみなさまが、これからも生き生きと過ごしていくための、運動のきっかけとなることを願っています。



いきいき健幸体操の実施風景

学食だより

株式会社ホーユー 調理責任者 中嶋 好孝

看護大学の学生の皆さんこんにちは。株式会社ホーユー九州料理長の中嶋と申します。日頃より学生会館食堂をご利用頂き有り難うございます。

只今、スタッフ変更の為、メニューなど御迷惑を掛けております。今後は新メニューの開発を行いバラエティーのある食事の提供に取り組んで参ります。

今後とも宜しくお願ひいたします。



本日のランチと日替わり丼



ランチ各種

図書館 だより

附属図書館職員 金丸 真由美

本学附属図書館では、調べものをする子どもたちのために、「調べ学習コーナー」を設置しています。このコーナーには、学校での宿題のヒントや「なぜ?」「どうして?」と、疑問に思った事を自分で調べることができる本を置いています。

例えば、科学の実験、歴史、介護などの医療福祉、社会問題などについて書かれた本や図鑑などがあり、どの本もわかり易く書かれているので、夏休みの自由研究のテーマを決める際の参考にもなります。

今は、インターネットで簡単に調べものをすることができるようになりましたが、本のページを一枚ずつめくって調べる楽しさもあります。また、手に取った本に新しい発見をし、知識や興味の幅がひろがるきっかけとなる事もありますので、ぜひ多くの子ども達に「調べ学習コーナー」を利用してほしいと思います。このコーナーの本は貸出もできます。小中学生も利用者カードを作ってご利用ください。



調べ学習コーナー

卒業生からのメッセージ

「助産師として実習指導に携わる者として」

社会福祉法人同心会 古賀総合病院 野崎 亜沙美さん(平成18年度卒業)

私は宮崎県立看護大学を卒業後、同心会古賀総合病院へ助産師として就職しました。約12年間、母子周産期センターで働いています。初めの頃は業務への対応で精一杯でしたが、看護大学での学びを発揮しながら、病院スタッフと協力して看護を実践しています。患者さんのライフスタイルやニーズが複雑化している中で難しい事例もありますが、その度に自分の原点であるナイチンゲール看護論や、これまでの経験・学びを振り返り、助産師として成長できるよう努めてきました。嬉しいことに、後輩にあたる学生の皆さんの実習指導者として関わらせてもらい、キラキラと目標に向かって頑張る姿を間近で見て、少しでも力になれていれば良いなあと感じています。また、卒業生の実践を知る会に呼んでいた



だき、4年生の皆さんに私が担当した事例と看護実践について発表しました。国家試験に向けて勉強しながら、今後の人生を考える大切な時期にある学生さんと話をさせてもらい、たくさんの質問に答えたり、微力ながら自分の経験を話すなど大変有意義な時間を過ごしました。学生の皆さんに、同じプロとして働く日がとても待ち遠しく、私も益々成長できるよう研鑽を続けたいと思いました。

「私の人生を豊かにしてくれた『保健師道』 ～これからも仲間と共に～」

都農町健康管理センター 清水 希美さん(平成13年度卒業)

大学卒業後、都農町に入所し、今年で18年目になります。この間、結婚、出産、子育てをしながら働き続けていますが、私は保健師という職業を選んで本当によかったです。保健師として得るべき知識や経験の全てが私の人生に大きく役立っていると感じるからです。保健師は「健康」を切り口に住民のライフステージの全てに関わることのできる仕事なので、様々な年代の方から学ばせていただくこともあります。日々の保健活動では、地域の実態や科学的根拠に基づいた計画を仲間と共に考え、実践していくこと



実際の保健師活動の風景

にとてもやりがいを感じています。今は実践が成果として住民の方々に還元できるよう、P D C A サイクルを回しながら少しずつ前に進んでいる状況です。保健活動はすぐに結果はできませんが、未来に訪れるであろう成果を信じて、これからも仲間と共に頑張っていこうと思います。将来、保健師を目指す皆さんと共に仕事ができることを楽しみにしています。



サッカーサークル部長 3年 末 海 聖 也さん

サッカーサークルは、月曜と水曜の週2回体育館でフットサルをしているサークルです。部員は男女合わせて約30名で、全学年が所属しています。週2回の活動だけではなく、週末にあるナイトリーグと呼ばれる社会人のリーグ戦に参加しています。サークル活動外でも学年や男女問わず、全員が仲良く充実した大学生活を送っています。サークル活動には誰でも、参加できるときに参加するという自由な面もあるので、自身の都合に合わせて活動できると思います。大会に出場することもあるので、スポーツ観戦が好き！という人にも、ガッツリ体を動かしてみたい！という人にも楽しむことができるサークルになっています。夏には部員でキャンプを計画したり、サッカー以外でも親睦を深めています。

このサークルでしか得ることのできない学年のはがりや、経験を味わいながら、これからもサークル活動を行っていきたいと思います。



サッカーサークルの仲間たち

大学祭のご案内

い ち ょ う
第23回公孫樹祭 実行委員長 知屋城 潤さん

こんにちは。令和2年度公孫樹祭実行委員長の知屋城潤です。写真は後方の中央です。今回の学祭のテーマは「unite u(you)」に決まりました。団結するという意味のuniteと、あなたyouを少し洒落てuに変換し組み合わせました。今年は年号が令和になったこともあり、もう一度原点に戻ろうと思い、大学祭を催す上で大事な学生間の団結を今一度強め、令和最初の学祭を盛り上げていきたいと思っています！

また、今年度はこれまでの学祭にさらに趣向を凝らして、新元号にふさわしい新しい学祭をお見せしたいと思います。学祭に来てくださる方々が、また来年も行こうかなと思えるような学祭を学生一丸となり作っていきます。また、看護大学ならではのイベントも準備しておりますので、5月はぜひ公孫樹祭へお越し下さい！皆様のご参加を心よりお待ちしております。



実行委員メンバー